

# 宇都宮民報

—発行—  
日本共産党  
宇都宮市委員会  
弥生1丁目7-11  
旭コーポ1階  
Tel634-8722

日本共産党発行  
**赤旗**  
日刊 3497円  
日曜版 823円

## 党市議員団 渡辺議長に申し入れ 議員海外旅行(視察研修)の 予算案は削除すべき



渡辺議長(右)に申し入れ書を手渡す荒川・福田両議員

日本共産党宇都宮市議員団の荒川つねお・福田くみ子両議員は二月六日、渡辺道仁議長に対し、『平成29年度議会予算案・海外行政視察研修に伴う費用の削除を求める申し入れ』を行いました。

海外旅行予算額は  
六一九万八千円

2月2日、開催された各会派代表者会議において、平成29年度、議会当初予

算案について報告がありましたが、今任期より再開されました。その中には、海外行政視察研修に伴う費用として619万8000円、議員団8日間、11名分が計上されました。日本共産党は、主としてこの理由により、この部分の撤回、削除を求めています。

### 第一の理由

#### 議員特権・海外旅行 事実上の復活

「海外行政視察研修予算先」にありきで、これから視察先・研修目的・内容を検討・決定することになります。

これでは、従来行われてきた、議員に当選すると4年の任期中に、代わる代わる一回、公費によって海外視察に出かける議員特権による海外旅行の事実上の復活です。

### 第二の理由

#### 血税を使つての 費用対効果には 至っていない

前任期の四年間、公費

による海外視察は中止されてきましたが、今任期より再開されました。しかし、従来行われてきた海外姉妹都市訪問ではなく、『市政と市民に有効な視察について実施する』こととし、数回にわたる事前研究会や事後報告会などにも取り進む前は見られませんでした。

日本共産党宇都宮市議員団は、この点は評価しつつも、海外視察・研修で学びえたものを宇都宮市政や事業の現状や分析に照らしてどうなのかが不十分であり、物見遊山ではないが、百聞は一見にしかずの域は出ていないと考えています。

日本共産党宇都宮市議員団は、結果として市民の血税を使つての費用対効果を確認されるものには至っていないと判断しています。

### 市民の暮らしは大変!

#### 議員の海外旅行は 大義なし!

いまの市民のくらしは、長びく景気低迷の中でいつこに良くなる兆しは見えません。

また、国の新年度予算案をみても、安倍政権の下、

社会保障改悪がさらに推し進められようとしています。税金による議員の海外視察に大義はありません。新年度の海外視察は中止し、市民の福祉の拡充にその予算を回すよう提案します。

## LR T整備に 76億円

### 新年度予算案

一月十三日、議員協議会が開催され、新年度予算案大綱、機構改革案について説明がありました。

一般会計の予算規模は二年連続2000億円台となります。

歳出の投資的経費は、276億円で、前年比36億円の前減となっています。

これは、文化会館大規模改修事業30億円、一条中学校移転改築事業6億円が終了したことによるものです。

投資的経費276億円は、平成28年度の312億から減となるものの、平成24〜平成28年の5カ年平均22.7億を大きく上回り、過去十年では二番目に多くなっています。

こうした中で、LR Tの整備に76億1000万円が計上されました。



また、子育て・健康づくり分野など、新規・拡充事業も計上されています。その中には、共産党議員団が求めてきた地域包括支援センター運営体制の強化も含まれています。

一般会計2000億円の予算案の中で、市民の暮らし・福祉の充実に最大級の財源を投入し、大胆な施策推進が市民の願いです。未だ市民合意のないLR T整備に、28年度の91億円に続く76億円余の予算案は、多くの市民のブーイングの的になることは間違いないと断言します。

日本共産党宇都宮市議員団は、新年度予算案について、市民の皆さんの声をしっかりと受けとめて3月議会にのぞみたいと思えます。



視察報告その②名古屋市

# 子どもを大切にまちづくりを全体で

子育て支援  
を  
実施

名古屋市では、①子どもの貧困対策(学習支援とひとり親家庭の居場所づくり)②なごや子ども応援委員会について視察してきました。

名古屋市では、H20年子どもを大切にまちづくりを全体で進めていこうと「なごや子ども条例」を施行、これに基づき、子どもに関する総合計画として「なごや子ども・子育てわくわくプラン」を策定し、子育てするなら名古屋と言われる施策を進めているそうです。

## 市内68カ所で 学習支援

活躍できる子どもの  
権利回復を

子どもの貧困対策は、計画を推進する3つの施策のうちの一つ、「困難を抱える子ども・若者・家庭への支援」の中に位置付けられています。

困難を抱えた子どもの  
学習支援は、生活保護・

生活困窮世帯、ひとり親世帯を一体的に対象とし、子どもの居場所づくりや養育支援が中心のA型(週2回)、進学相談を含め進学のためのB型(週1回)を選択できる仕組みとなっています。

H28年度は、68カ所で約800人(前年度は44カ所528人)が支援を受けているということとなっております。どこも定員オーバーです。どこも定員オーバーとなっております。来年度はさらに拡充が必要と語っていました。

## ひとり親家庭の 居場所づくり

安心でKING  
第3の居場所

名古屋市では、川崎市で起きた中学2年生の殺人事件を機に、「ダブルワーク等で、子どもが犯罪に巻き込まれることのないように」との健全育成の観点から、ひとり親家庭の居場所づくり事業



名古屋市役所本庁舎

がはじまりました。

今年度は夏休みのみのモデル事業として、2カ所で開設。対象は、小5(中3のひとり親家庭の子どもですが、兄弟や友達と一緒に参加してもよいとしています)。

内容は学童保育のようなイメージです。ひとり親家庭の子ども同士の新たなコミュニケーションがうまれたり、家に居づらい子、兄弟の面倒を見なければならぬ子など、思春期の子どもにとつての第3の居場所となったなど、思わぬ効果も得られたとのことでした。

新年度からは、年間を通して実施したいと述べていました。

## 子ども応援委員会

専門家チームで対応  
カウンセラーは常勤

あとを絶たない子どもの自死。いじめや不登校など、教育上大きな課題となっています。

なごや子ども応援委員

会は、スクールカウンセラーなどの専門職を学校現場に常勤で配置し、子どもたちと普段から関わりながら教員と共に、問題の未然防止、早期発見



「なごや子ども応援委員会」ロゴマーク

や個別支援を行い、学校を支援する体制づくりを推進しています。

すべての中学校にスクールカウンセラーを常勤で配置することを目指しており、現在110校のうち36校に、配置済み。今後3年で全中学校配置を目指しています。

また、市内を11のブロックに分け、ブロックごとに常勤のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールアドバイザー、非常勤のスクールポリスの4つの職種からなる6名〜7名のチームを設置。

チームは、それぞれのブロック内の小中学校の要請にもこたえ、児童生徒の問題の早期発見、相談対応、家庭、地域、関係機関との連携に努めています。

子ども条例に見られる「子どもを大切にすべし」という精神が生かされ、その気になればできる、との思いを強くしました。 福田くみ子記



道路の老朽化で、ひび割れやデコボコで通行騒音のもととなっていた市道1060号線がこのほど舗装工事が行われ、住民の皆さんからも喜ばれています。

春日町地内  
デコボコ・ひび割れ・通行騒音  
これで解消

日本共産党宇都宮市議員団  
定例無料

## 市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅  
道路・交通安全・その他何でも・・・

- ◇日時 3月18日(土) 14時~16時
  - 4月8日(土) 午後2時~4時
  - ◇会場 宇都宮総合コミュニティセンター(2階会議室)
  - ◇連絡 日中 TEL632-2622 (市議員団)
  - 土・日・夜間 TEL634-8722 (市議員)
- 相談ご希望の方までお気軽にご連絡ください。  
秘密厳守します。弁護士が協力します。